

市民憲章唱和

1 あいさつ

2 協議事項

（1）平成29年度開催済事業報告

委員	見学学習について、文化財展の期間中に市内のいくつかの学校が使い、使わなかったのか教えてもらえれば、担当教諭の指導内容に生かせるので教えてほしい。
事務局	わかりました。内容をまとめて委員あてに送付する。
委員	無料開館のところで、一般観覧者の人数が記載されているが、観覧者は無料であることを知っていたのか。
事務局	もともと無料の企画展を観覧に来て、常設展が無料であることを知り、観覧されたと思われる。 また、催し物案内にも掲載しているので、無料であることを知って観覧された方もいると思う。
委員	広報にも掲載しているか。
指定管理者	掲載している。
事務局	安城市では、いまだに新しく市内に転入してくる方がおり、博物館に来たことがない方もいる。初めてなので常設展を観覧に来る方もいる。昨年度は、伊藤若冲展で多くの方が観覧にこられたが、初めて来館した方も多かったので、常設展に入られる方も多かった。 最近は桜井地区の区画整理事業によって新しく市内に転入される方もいるので、これからも常設展示を観覧にこられる方はいると思う。
委員	常設展無料について、無料は安城市独自で行っていることか。県内全ての博物館が無料なのか。
指定管理者	安城市独自ではなく、全国に合わせた動き。無料日は当館の裁量で決めている。
委員	関西地方では大々的に実施しているので、愛知県でも個々の博物館で行うのではなく、全体として考えて宣伝すればたくさんの方に博物館に来てもらえるのでは。

委員	博物館の日を一斉に同じ日に設定すると、全部廻りたい方にとっては無理がある。多少日をずらしてもいい。
----	---

(2) 平成29年度下半期事業

委員	企画展「一汁三菜」のところにおいて、体験講座がおこしものづくりということで、おこしものは知立などの東海道沿いにおいて知られているのは知っているが、岡崎や安城はいがまんじゅうだと思う。体験講座にいれてほしい。
指定管理者	体験講座については、講師の先生と情報交換していく中でいがまんじゅうとおこしもの、どちらでやっていくかという話になった。いがまんじゅうは作り方が簡単ではないが、おこしものの方が家庭に型が伝わっていて、実際におこしものを見たり、触れたことがない方が多く、おこしもの自体を知らない方が多い。そういった食の文化を伝えていくにあたっておこしものの方がいいのでは、という結論に至った。ただ、いがまんじゅうについても検討はしていたので、予算の範囲内で講座のラインナップとしていれていくかどうか再検討させてもらう。
委員	いがまんじゅう、おこしものの地域の分布も調べてほしい。おこしものの型が残っている家庭は安城にどれくらいあるのか、といったことも調べてほしい。
指定管理者	そういったことも含めて講師の先生と相談し、再度調べておく。
委員	企画展「一汁三菜」について、副題はどうするのか。
事務局	現時点では仮題として「人と食の歴史」としているが、もう少しインパクトのある副題に変えるつもりでいる。
委員	企画展「一汁三菜」の記念講演会について、講演内容を明治維新150年に合わせて話せないかとも思った。 また、明治・大正・昭和と食器の移り変わりとともに盛り付けの仕方も変わるので、食事の食だけでなく、食をとりまく周りの雰囲気についても展示するのか。
事務局	展示できる民具等があるので、展示するつもりで考えている。
委員	企画展「安倍晴明」の展示の方向性を教えてほしい。
事務局	展示は文書等の記録類を中心として行っていく。文書の中に「晴明」の名が残っており、実在していることがわかっているため。地

	味になるかもしれないが、今回は同時代性のある史料等を出していくことを大事にする。土御門家とかかわりのあった三河万歳についても展示をしていく。 全体を記録で出していくとかたくなってしまうので、最後のまとめの部分で漫画等のやわらかいものも出し、現代への締めくくりとしたい。
委員	列島展の講演会について、愛知県でも震災派遣されている方がいるので、そういった方をお呼びして講演をしてもらうことはできないか。
事務局	今回の列島展は、文化庁の要望で水中考古学を全面に出してほしいといわれているため、今回は水中考古学の先生に講演をお願いしている。
委員	震災関係の講演を連続講座に組み込むことは難しいのか。
事務局	文化財レスキューみたいな考え方は、東日本大震災に関連した展示もしているので、時期があればやれる可能性はある。文化財係とも連携して考えていきたいと思っている。

(3) 平成30年度事業計画

指定管理者	以前共同で事業を行ったが、JA の年金関係の団体の会報に一汁三菜展の記事を掲載する予定で調整している。また、地元の食材を博物館の喫茶店で提供予定。展覧会観覧の方にも割引を検討している。
事務局	指定管理者の事業としてホテルの放流を行っているので説明してほしい。
指定管理者	先生の指導の下、ホテルの放流を行った。7 月上旬にホテルを見ることができたが、ホテルを目的にこられる方もおり、成果があったと思っている。

3 その他

委員	指定管理者の評価について、採点について説明してほしい。
事務局	指定管理者の評価については、既にホームページで公表されたもの。評価員 5 名が各項目ごとに評点を付けていく。資料の点数は 5 人の評点を平均化したもの。 点数は 3 点満点であるが、2 点あれば適正な評価になっている。

委員	前回の協議会で話をしたこいのぼりの件だが、かなり大型なので使っていたらいいのであれば寄贈したい。
指定管理者	使えるように検討したい。